



第二ぎんなん便り

社会福祉法人
熊本市手をつなぐ育成会
第二ぎんなん作業所
平成29年5月26日
第372号

施設長
井芹 靖成



5月



連休が明け、いよいよ初夏を迎える季節になりました。皆さま方におかれましても益々ご健勝のことと存じます。

第二ぎんなん作業所に来て1ヶ月が過ぎました。作業所の生活の流れ、業務についても、少しずつ見通しが持てるようになりました。毎日、利用者さんと作業に取り組んでいます。農場に出かけての畝作り、植え付け、収穫、また、リサイクル作業での空き缶つぶし、受託作業での除草、剪定作業など、1日があっという間に過ぎてしまいます。教員時代には「働くという字は、人が動くと書きます。手を動かし、体を動かし、頭を動かすことです」と生徒に伝えてきましたが、そのことを改めて実感しているこの頃です。

さて、5月の連休が終わり、連休後の利用者さんの出勤状況を心配していました。学校とかでは、連休明けは欠席が多くなったり、不登校になる生徒が増える時期です。作業所の利用者の方の中にも、もしかして、欠勤されたり、長期欠勤される方がおられるのでは・・・と心配したところでした。ところが、作業所の皆さんは、連休翌日から一人も休まれる方もなく、いつものように元気に出勤してこられました。ほっとしたと同時に感激しました。きっと、作業所が自分の生活の場所、自分のすべきことがある場所であ

り、そのことが安心の元になっているのかとも思います。昨年度1年間の利用者の方の施設出席率が約90%ということを知りました。障がい者福祉事業所での出席率としてはとても高いとのこと、ぎんなん作業所が、利用者のかたにとって、安心して楽しい作業所であることの表れかとも思います。福祉サービスを考えたとき、一番大切な、安心感や楽しさが充実しているのが、ぎんなん作業所であり、良さでもあると思います。そのことを大切に、更に充実させていかなければと、心新たにしたところです。まだまだ、不十分なところもたくさんあるかとも思います。ぜひいろいろなご意見、アドバイスをいただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。



【ピーマン植え付け、ニンニク収穫】

農業はあまり経験が無く、これから勉強のためにいろいろな作物を育ててみようかと思い、畑の空きスペースに、利用者の方とピーマンを定植しました。ピーマンは虫に強く、育てやすく、収穫量も多いということで何とか収穫までいくのではないかと期待しています。しばらくは灌水、除草、追肥の作業を皆さんにお願いし、大切に育てていきたいと思っています。それから、昨年植えていたニンニクの葉が枯れ始めたので



で収穫を始めました。初日は100本ほどの収穫をしました。ニンニクの臭いが畑の周りにも漂ってました。後日販売予定です。

【くぬぎの丘マルシェ】

ゴールデンウィーク中の5月5日に合志市にあるカントリーパークで行われた、「くぬぎ



の丘マルシェ」というイベントに第二ぎんなん作業所も参加しました。「くぬぎの丘マルシェ」は九州内の手作り工芸を



されている方々が一堂に会した販売会です。当日は晴天に恵まれ、駐車場が一杯になるくらいの来場者でした。

第二ぎんなん作業所は、竹製品（箸、バターナイフ）作りの体験コーナーを開きました。親子で体験される方が多く17名の方が体験をされました。きっとものづくりの楽しさを親子で体験していただけたのではないかと思います。

【熊福連 仲間の交流会】

5月19日（金）に熊福連仲間の交流会がありました。今年、松橋の「希望の里」の体育館で行われました。県内の旧小規模作業所の皆さんの交流会です。



第二ぎんなん作業所利用者の皆さんも毎年恒例の交流会ということもあり、とても楽しみにされていました。午前中は熊本レクリエーション協会の皆さんのリードで、フォークダンスをしたり、風船運びゲームで楽しみました。途中くまモンが登場し更に会場が盛り上がりました。午後は三味線奏者の演奏会があり、聞き覚えのある熊本民謡に手拍子で楽しんでいました。後半はフォークソングのコンサートでした。フォークソングでやや昔の

曲でしたが、皆さん聞き覚えがあるようで、自分の席から立ち上がり、全身で踊りながら楽しまれました。



交流会で再会したり、また、新しい友達を見つけられた方もいて、充実した交流会になったようです。

【健康診断】

4月20日に健康診断に行きました。近くの間人ドックを実施される病院に、全員でお世話になりました。以前からお世話になっている病院で、とても親切に、ていねいに対応していただきました。診察、体位測定、視力測定、血圧、採血、胸部レントゲン、心電図など一般に行われる検診を一通りしていただきました。心電図はこれまでは実施していなかったのですが、今年初めて実施していただきました。心電図をみなさんとれるか心配していましたが、みなさん問題なく終えることができました。きっと緊張の1日だったと思いますが、自分の体の状況を調べておくことは健康を維持する上では大切なことなので、終えることができ一安心しました。結果の報告書も来たので、今後ご家庭に治療等を依頼して健康な体作りができればいいなと思います。



【新しい仲間を募集しています】

現在、第二ぎんなん作業所では、定員に空きがあります。和気あいあいとして、温かく細やかな支援が自慢です。昨年の保護者アンケートで「通わせてよかった」という回答が100%であったことがその現れだと思います。もし、これから就労継続支援B型事業所を利用したい、または、関心がある方は、ぜひ一度見学、体験をされてみませんか。お待ちしております。